

## 2-6 交流・連携の推進

### ■ 現況と課題

#### 1. 国際交流の推進

平成2年度から姉妹都市提携を視野に入れ、世界的な馬の町イギリス・フォーレストヒース市（ニューマーケット）に町民を派遣し交流を行うとともに、地域や学校が主体となったモンゴルとの交流に対しても支援を行ってきました。

フォーレストヒース市については、平成16年に同市との交流を目的とした浦河・フォーレストヒース交流協会が設立されたことから、同協会と連携を図り民間の活力を活かした交流の推進を行う必要があります。【1】

野深小学校を中心に行われていたモンゴルとの交流は、現在、堺町連合自治会婦人部による物資の提供だけとなっていますが、今後、町内の団体や学校などで様々な国際交流や国際協力に関わる活動が主体的に行われるよう、国際理解や国際交流を促すための学習機会を充実させるとともに、具体的な活動に支援を行う必要があります。【2】

また、町内には軽種馬関係者を中心に100名近くの外国人が暮らしており、彼らとの交流機会を増やし、身近なところで国際交流や国際理解を深めることも必要です。【3】

#### 2. 地域間交流の推進

平成元年から熊本県河浦町（現、天草市）とは、浦河に暮らす人たちの一つのルーツとして児童生徒の相互派遣を中心としたふるさと交流事業を行ってきました。しかし、同町が平成18年3月に合併したことに伴い、行政間の交流にピリオドが打たれ、縁の地域である杵臼地区と東部小学校を主体とした交流に移行され、今後、行政はパイプ役として両地域の交流を支援することになりました。【1】

全国の関係市町村と交流し馬文化の醸成を図るホースサミットへの参加を行うとともに、今後とも浦河の応援団である「ふるさと会」との連携を深め活動支援を図る必要があります。【2～4】

町外からの視察や児童生徒の体験活動などを関係団体と連携し積極的に受入れ、地域間の交流を促進し、連帯感やふるさと意識の高揚を図り、町を活性化させることが求められています。【5】

### 3. 移住の促進

今後、人口減少が本格的に進むことが予想され、少子化・高齢化の進行とあいまって、地方では深刻な問題となっています。

人口が減少することにより、私達の暮らしを支える基盤が崩れ、十分な機能を維持していくことが困難となります。その結果、地域の活力は失われてしまうことが懸念されます。一方で、首都圏を中心に「団塊の世代」が大量退職の時期を迎え、移住や地域間交流による第二のふるさと探しの動きなどが大きくなってきています。このような移住・交流のニーズに対応することで、地域の人口減少に歯止めをかけるとともに、交流人口の増加によって、地域の活性化に繋がることを期待できます。

こうしたことから、移住・定住・交流の情報を提供するとともに、浦河町の特徴である豊かな自然を前面に出した農業や馬との暮らしを軸に移住促進対策を進め、併せて、地域振興を図る必要があります。【1～3】

## ■今後の方向性

### 1. 国際交流の推進

1 イギリス・フォーレストヒース市との交流を推進するために、児童生徒などの派遣や受入による交流を推進するとともに、推進母体である浦河・フォーレストヒース交流協会の活動支援の強化に努めます。【①②】

2 国際交流の推進や国際理解を図るための学習機会の充実に努めます。【③】

3 町内在住の外国人との交流機会を増やし、身近な国際交流を推進するとともに、町民として暮らしやすいよう環境の整備を図ります。【④】

### 2. 地域間交流の推進

1 ゆかりの会や東部小学校による旧河浦町との交流への支援を行います。【⑤】

2 地域の独自性を発揮するため、馬文化の醸成を目的として「全国市町村ホースサミット」を通じた全国的交流を推進します。【⑥】

3 「浦河会」や「荻伏会」のふるさと会などとの連携により、UIターン・移住などを含めた来町への働きかけや、情報発信・交換の協力体制を強化します。【⑦】

4 ふるさと会と同様、来町への働きかけや情報発信・交換を促進するため、浦河をサポートする組織づくりについて、町観光協会の取り組んでいる「ふるさと観光大使」の機能強化を軸に進めて行きます。【⑧】

5 町外からの研修、視察などを関係団体・機関と連携し積極的に受入れるとともに、青少年や婦人を町外へ派遣し、地域間交流の推進を図ります。【⑨⑩】

### 3. 移住の促進

① 移住に関する問合せに対し、迅速かつ効果的な相談を行うため、引き続きワンストップ移住相談窓口体制による親切丁寧な対応を行います。【⑩】

② 移住に必要な住居を確保するため、地域や民間からの情報収集を進め、希望者への情報提供に努めます。また、移住希望者や移住者の不安を取り除き、地域への安心感や愛着を持ってもらうために、地域と移住者との交流が必要であることから、地域の理解を得るとともに、地域としての受入体制のあり方について検討を進めます。【⑩】

③ 浦河への移住を促進するため、浦河の魅力や実際の生活を知っていただくことを目的に、短期・長期滞在に対応した生活体験事業を推進します。【⑩】

#### ■ 実施事業

- ① イギリス・フォーレストヒース市との交流推進
- ② 浦河・フォーレストヒース交流協会育成事業
- ③ 国際理解フォーラムの開催
- ④ 在町外国人との交流機会の提供
- ⑤ 旧河浦町との交流への支援
- ⑥ 全国ホースサミットの開催運営
- ⑦ 東京・札幌浦河会、札幌荻伏会との連携強化
- ⑧ 浦河を愛する町内外の組織化の検討
- ⑨ 町外からの研修、視察などの受入と関係団体・機関との連携強化
- ⑩ 町外への町民研修等派遣事業
- ⑪ 移住促進対策事業